

平成12年5月10日

各位

株式会社 大 京
広報室長 大越 武

GW期間中（7日間）の販売は好調に推移！！

- ◆期間中の契約金額 150億円、前年同期比1.25倍
- ◆現場・現物販売ルーム来訪者 13,000組、前年同期比2倍

株式会社大京（本社：東京都渋谷区、社長：長谷川正治）では、ゴールデンウィーク期間中（4月29・30日、5月3日～7日：7日間、5月1日・2日分を除いています）のマンション販売状況をまとめましたので、お知らせ致します。

当期間中に全国でオープンしていました現場・現物販売ルーム（棟内内覧ルーム）への来訪者は約13,000組で、昨年の同期間中（平成11年4月29日～5月5日の7日間）の約6,500組に比べ約2倍となりました。

この結果、同期間中のマンション契約金額（予約含む）は約150億円となり、昨年の同期間中の約120億円に比べ約1.25倍となりました。

<現場・現物販売ルームへの来訪者が前年同期に比べ伸びた要因>

基本的には、今回は、昨年に引き続き政府の住宅政策による後押しがあることが最大の要因です。

主な要因は、

- ①ゴールデンウィーク中は、おおむね天候に恵まれたこと、
 - ②住宅金融公庫の公庫基準金利がまだ2.85%と依然、2%台の低金利政策が維持されていること、
 - ③住宅ローン減税の恩典を受けられること、
 - ④供給物件も昨年に引き続き、一次取得者向けの新規物件、大規模物件が多く供給されたこと、
- などによるものと考えております。

	平成12年 (4/29・30、5/3～5/7)	平成11年 (4/29～5/5)	前年同期比
契約金額	約150億円	約120億円	約1.25倍
現場・現物販売ルーム 来訪者数	約13,000組	約6,500組	約2倍

以上